

大山町長 米子高専で模範講演会



提案した事業について
学生と意見を交わす竹
口町長(右)

米子高専(米子市彦名町)で、同校出身の竹口大紀大山町長が参加して模範講演会が行われた。同町の3月定例議会でも実際に提案する一般会計予算案の中から、小規模保育所の建設について規模保育所の建設について学生たちが審議した。模範講演会は1月23日に行われ、同校4年の学生50人と一般聴講者5人が参加。大山地区の保育園の入所児童数が法定上限に達していることを理由に、新たに0〜2歳を対象とした小規模

保育所を建設するため1億円の事業費を計上すると説明した。委員会を想定し、学生が数人のグループをつくって審議。「人口を増やすために保育園は必要」「小規模なのでリスクが少ない」などの賛成意見が出る一方で、「保育士が確保できるのか」「通園バスを使っている他地区の定員割れしている」「この保育園に回しては」「この先必要か分からない」といった反対意見も上がった。竹口町長が国の補助金などを使えば大山町の実質的な負担は1千万円程度になると追加説明した結果、全会一致で可決した。佐波呼治朗さん(19)は「機械工学科」は「議会について知ることができたので、

いるのか理解してもらい政治家を目指す人が出てきてくれれば」と期待した。(渡部ちぐみ)

市立病院への認

安来市立市議会
病院問題



夏刈さん(右)の講演に
耳を傾ける参加者

赤字経営で抜本的改革が喫緊の課題となっている安来市立病院の現状を広く市民に

「小さな成功 蓄積大事」

社会人などが対象の生涯教育「米子リカレントアカデミー」にしよう、同学園が企画した。米子市久米町の米子ファッションビジネス学園で開講した。3月まで全3回の講義を通じて事業内容やマーケティング、ロゴやビジネスモデルを考察し、新規事業の立ち上げにつなげる。



事例紹介などを交え、新規事業立ち上げのヒントを助言する
村尾さん(奥)

新規事業 立ち上げへ ロゴやビジネスモデル考察

講義はウェブでも同時配信されるため、どこからでも受講できる。後日、視聴することも可能。セミナーとは別に相談会も開き、手厚くサポートする。初講義は1月28日に行われ、17人が会場で受講したほか、4人が配信を視聴。村尾さんはマーケティングやパッケージで注目された事例を紹介し、「新規事業が注目され、本業が売れるようになることもある」と助言。新

米子リカレント アカデミー開講

規事業の成功率は高くないとした上で「小さなチャレンジをたくさんするのがいい。小さな成功体験を蓄積することが大事だ」と強調した。

開講に先立って行われた式典には、米子市の伊木隆司市長らが出席。同学園を運営する学校法人柳心学園の柳谷由里理事長は「全ての教育は社会人になって役立つためにある。その第一歩としてアカデミーを開講する」とあいさつした。(岡野耕次)

民に... 議会... 舎で... 約1... 病院... や今... につ... 山... 再... 法人... 理事... 立病... 立病... を務... の夏... 来市... して... 一... 病院... 金投... でき... ても... 民間... いる... ある

国... 鉄... が... 一... ン... だ... ば... と... 観... ウ... い... お... し... を... 転... 内